

取扱説明書

WAVEファイル再生ボード WAV580B

2012.03.27 誤記訂正 CN1/2 +- 住居表示変更

UM_WAV580B_F120327

このたびは、CF カード対応 WAVE ファイル再生ボード WAV500 シリーズをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本機の優れた機能をご理解頂き、末永くご愛用頂くためにも、この取扱説明書をよくお読み下さい。

目次

■	困った時に (トラブルシューティング)	2
1	概要	3
2	特長	3
3	主な用途	3
4	登録時間と再生時間	3
5	標準仕様	4
6	外観図並びに外形寸法図	5
7	各部の名称と機能	5
8	付属品・オプション	6
9	コネクタピンアサイン	6
10	使用電源	7
11	音量調整	7
12	入出力信号	8
13	接続	8
14	ジャンパーピンの設定	9
15	モードスイッチ (再生モード・タイマー・その他) の設定	9
16	制御方法-接点制御	10
17	制御方法-バイナリ制御	12
18	適用メモリカード	12
19	適用カードデータと WAVE ファイル形式	13
20	データ入り CF カードの作成・コピー	13
21	音声データのアドレス登録について	14
	接続参考図 シーケンサ等との接続、バイナリ接続	14

ご注意



- 水、湿気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないで下さい。火災、故障、感電の原因になります。
- 定格範囲外で使用されますと、故障が起きたり、十分な機能が発揮できないことがあります。
- 接続、カードの挿入・交換、各種設定・変更の際は、感電事故を避けるため、必ず、電源を切ってから行って下さい。

VoiceNavi 三共電子株式会社

〒381-3203 長野市中条 38 番地

<http://www.voicenavi.co.jp>

困った時に (トラブルシューティング)

電話で多い 問合せ	まったく、再生しない	CF カードを認識していない。PLAY LED 点滅 カードフォーマットが FAT(FAT16)ではない。FAT32/NTFS フ ォーマットは認識できません。
		カードデータファイル「xxxx. imx」「xxxx. wpj」がコピーされて いない。 WAVE ファイル「xxxx. wav」がコピーされていない。
再生しない WAVE ファイルがあ る	再生しない WAVE ファイルがある	その WAVE ファイルがコピーされていない。 拡張子が .wav ですが実際は形式が違うファイルや、ある録音 ソフトで録音した WAVE ファイルは WAV シリーズで再生でき ないものがあります。 WindowsOS アクセサリのサウンドレコーダー等で開き、別のフ ァイル名で保存し、VoiceNaviEditor で登録して下さい。

困った状態	LED表示	原因	対処方法
電源 LED が点灯しな い	POWER の LED が点灯しない	電源が接続されていない	接続を点検し、接続します。
		極性が間違っている	接続を点検し、接続します。
再生しない接点・アド レスがある	PLAY の LED が点滅 *1	接続ミス	接続参考図を参照の上、コネクタの接続を点検し、再 接続
		その接点・アドレスに対応した WAVE ファイルがない	カードにコピーした際、漏れが生じたので、その WAVE ファイルをコピーします。
まったく再生しない	PLAY の LED が点滅 *2	CF カードがフォーマットされ ていない	CF カードをフォーマットし、データ (wpj ファイル、 WAVE ファイル) をコピーします。
		カード内にカードデータファ イル (xxx. wpj) がない	VoiceNaviEditor でカード内の .wpj ファイルを読み込 み、レポート出力して確認。データファイルがない場 合、VoiceNaviEditor で作成し、コピーします。
		WAVE ファイル (xxx. wav) がカード内にない	VoiceNaviEditor でカード内の .wpj ファイルを読み込 み、レポート出力して確認。 ない場合、WAVE ファイルをコピーします。
		音量ボリューム「小」	再調整
		接続ミス	コネクタの接続を点検し (特に COM 端子部)、再接続
		再生モード設定ミス	再生モードを確認し、再設定
		タイマーモード設定ミス	タイマーモードを確認し、再設定
再生するが、時々、リ セット状態		ノイズ等で CPU 暴走	マイコン内臓のウォッチドックタイマー自己復旧してい るが、電源ライン、信号ライン近辺に存在するモーター 等のノイズ源に対しノイズ対策します。
入力接点と再生する 内容が合っていない。		設定ミス	VoiceNaviEditor でカード内の .wpj ファイルを読み込 み、レポート出力して確認。再設定、カード作成し、コピ ーします
組立再生しない、順 序が違う		接続ミス	コネクタの接続を点検し、再接続
リピート回数再生しな い、回数が違う		設定ミス	VoiceNaviEditor でカード内の .wpj ファイルを読み込 み、レポート出力して確認。再設定、カード作成し、コピ ーします
CF カードがカードコ ネクタの奥まで入ら ない		挿入方向違い	挿入方向を確認し、再挿入

(注) *1 再生の起動時にPLAYのLEDが点滅します。STOP入力にて消灯します。

*2 PLAYのLEDが点滅した状態で、再生起動を行うとALARMのLEDが点灯します。

VoiceNavi

1.概要

WAV580B は、「WAVE ファイル」、Flash カード「コンパクトフラッシュ」採用、フォトカプラ入出力、電源ラインのノイズ対策の<FA仕様>、5W アンプ搭載の WAVE ファイル再生ボードです。

音源 WAVE ファイル・CF カード採用とサポートソフト VoiceNavi Editor によりクライアント自身で音声・音源データの登録・変更ができます。

WAV200B の後継機(サイズ・コネクタ・データ互換)

2.特長

- クライアント自身で音声データの登録・変更ができます
- サポートソフト VoiceNavi Editor [無償 WEB 配布]
- CF カード交換で音声・音源データ変更が簡単
- WAVE ファイル採用
- 高音質 44.1/22.05KHz 16/8Bit Mono
- CF カード採用 128/256MB
- テキスト入力音声データ作成ソフト
VoiceNavi Announcer (有償販売品)
- スタジオ録音・WAVE ファイル・カード作成サービス
- DC+24V/12V-2 電源対応
- 170W×120D×27Hmm
- スクリーンレス端子台仕様(コネクタ接続も可)
- WAV200B 後継機(サイズ・コネクタ・データ互換)
- 5/1Wmax.8Ω スピーカーアンプ装備
- 外部音量ボリューム接続対応
- WAVE ファイル
44.1/22.05/11.025KHz 16/8Bit Mono
- CF カード採用 32/64/128/256MB
- 登録時間
44分 max. (256MB 44.1KHz 16Bit 時)
- 8CH-接点制御
再生モード:通常/後入力/優先順位/入力中
インターバルタイマー: 0/30/60/120 秒
- 250CH-バイナリ制御

3.主な用途

- クライアント・製品別の対応が要求される分野
・各種設備機器の音声ガイド・警報
- WAV200B の後継機

4.登録時間と再生時間

【登録時間】サンプリング周波数・カード容量による。 単位:分 max.

カード容量	44.1KHz		22.05KHz	
	16Bit	8Bit	16Bit	8Bit
32MB	5.6 分	11.2 分	11.2 分	11.2 分
64MB	11.2 分	22.4 分	22.4 分	22.4 分
128MB	22.4 分	44.8 分	44.8 分	44.8 分
256MB	44.8 分	89.6 分	89.6 分	89.6 分

【再生時間】

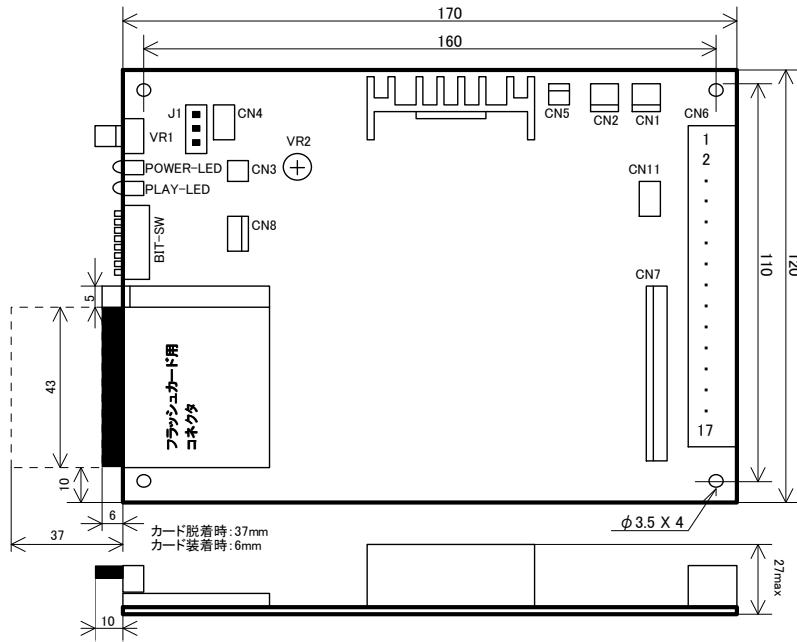
下記の機能を使用しない場合	登録した WAVE ファイル時間
サポートソフト VoiceNavi Editor 上でプログラム登録してある場合	組立再生登録・リピート回数登録内容による

5. 標準仕様

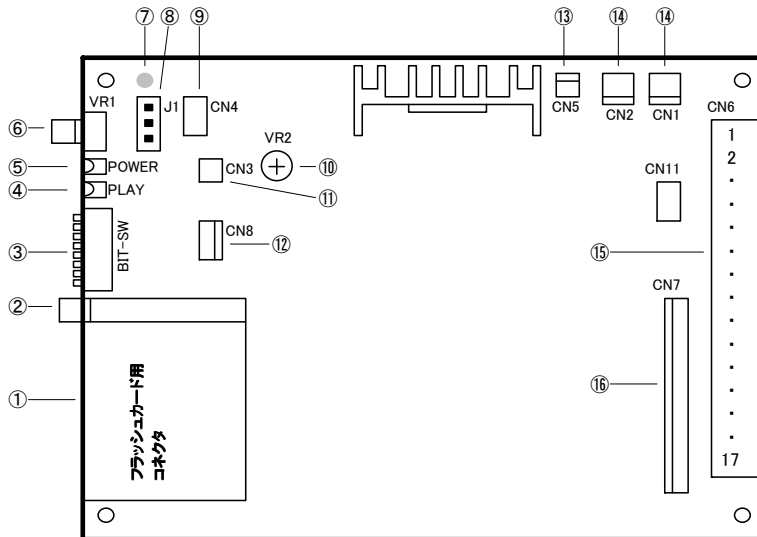
標準仕様

定格使用電圧	DC+24V±5% または DC+12±5%																	
消費電流	DC+24V 時 待機時 約 75mA 最大時 約 460mA ● DC+12V 時 待機時 約 70mA 最大時 約 220mA																	
寸法・重量	170W X 120D X 27H mm 突起部含まず 約 300g																	
使用環境	-5℃～55℃ 35%～80%RH(但し結露なき事) (保存時) -10℃～70℃																	
再生方式	WAVE ファイル (注)16Bit データはソフト処理で再生 44.1/22.05/11.025KHz 16/8Bit モノラル 32/16/12.8/8KHz 16/8Bit モノラル																	
再生帯域	300Hz～10KHz																	
制御方式とチャンネル数	■接点制御 8CH (フォトカプラ入力) 再生モード:通常再生/後入力切替再生/優先順位再生/入力中再生 タイマー:インターバル 0/30/60/120 秒 (通常再生モード時) IN /SW1～8, /STOP 無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ OUT /BUSY /ALM オープンコレクタ出力 (DC+35V,500mA) ■バイナリ制御 250CHmax. (フォトカプラ入力) IN /D0～7 /STOP /STB 無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ OUT /BUSY オープンコレクタ出力 (DC+35V,500mA)																	
適用メモ리카ード	Flash カード 「コンパクトフラッシュ」 32/64/128/256MB 1 枚 max.																	
登録時間	カード容量と WAVE ファイルのサンプリング周波数による <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">カード容量</th> <th colspan="2">登録可能時間</th> </tr> <tr> <th>44.1KHz16Bit Mono</th> <th>22.05KHz 16Bit Mno</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>32MB</td> <td>5.6 分</td> <td>11.2 分</td> </tr> <tr> <td>64MB</td> <td>11.2 分</td> <td>22.4 分</td> </tr> <tr> <td>128MB</td> <td>22.4 分</td> <td>44.8 分</td> </tr> <tr> <td>256MB</td> <td>44.8 分</td> <td>89.6 分</td> </tr> </tbody> </table> (注) 8Bit データ・異なるサンプリングモードデータも混在登録できます。	カード容量	登録可能時間		44.1KHz16Bit Mono	22.05KHz 16Bit Mno	32MB	5.6 分	11.2 分	64MB	11.2 分	22.4 分	128MB	22.4 分	44.8 分	256MB	44.8 分	89.6 分
カード容量	登録可能時間																	
	44.1KHz16Bit Mono	22.05KHz 16Bit Mno																
32MB	5.6 分	11.2 分																
64MB	11.2 分	22.4 分																
128MB	22.4 分	44.8 分																
256MB	44.8 分	89.6 分																
再生時間	登録 WAVE ファイル合計時間 またはエディタソフト VoiceNavi Editor 上でプログラム登録した場合、その内容による																	
音声出力	スピーカ出力 DC+24V 時 5Wmax. 8Ω DC+12V 時 1Wmax. 8Ω LINE出力 600Ω 不平衡 0dBm (-6.5dBm～1.5dBm)																	
音量調整	1.シャフト付音量ボリューム 2.外部 VR 接続対応 (注)JP による半固定 VR と外部 VR 接続との切替 3.外部接点端子による 3 段階音量切替(メイン音量は半固定 VR による) 大-メイン VR 中-大×1/2・約-6dB 小-大×1/5・約-14dB 4.コマンド制御による 3 段階音量切替・保持 (メイン音量は半固定 VR による) FBH-中(大×1/2・約-6dB) FCH-(大×1/5・約-14dB) FDH-(大・半固定 VR と同一) (注)電源 OFF の場合でも、設定レベルを保持します。																	
付属品	無 (注)コネクタ接続したい場合、オプション CK-WAV580B をご使用下さい。																	
オプション	Flash カード 「コンパクトフラッシュ」 32/64/128/256MB CK-VER3 外部 VR 用コネクタケーブル(シールド) 1m CK-VR3G3 外部接点端子 3 段階音量切替用 1m CK-LER2 LINE 用コネクタケーブル(シールド) 1m CK-WAV580B 電源/SP/制御用																	
その他	・プログラム登録機能 サポートソフト VoiceNavi Editor 上で下記の登録ができます (組立再生) 1 アドレス 8wave ファイル (リピート回数) 1 アドレス max ・ユーザー仕様>対応 ・再生ソフト ・タイマー時間																	

6. 外観図並びに外形寸法図



7. 各部の名称と機能



No	名称	内容
①	コネクタ(CF カード用)	CF カード実装用コネクタ
②	カードエジェクトボタン	CF カード取り出し用ボタン
③	MODE SW	再生モード, タイマー値等設定用
④	PLAY LED(緑色)	再生中点灯 並びに各種状態時に点滅
⑤	POWER LED(緑色)	電源オン時点灯
⑥	VR1	スピーカ出力用ボリューム
⑦	ALM LED(赤色)	CPU 異常時点灯(電源オフにて消灯)
⑧	J1	SP 用ボリュームの内部/外部設定用ジャンパー
⑨	CN4	外部ボリューム用コネクタ
⑩	VR2	ライン出力用ボリューム
⑪	CN3	ライン出力用コネクタ
⑫	CN8	SP 出力の減音用コネクタ(現音量の 1/2, 1/5 の選択)
⑬	CN5	SP 出力用コネクタ
⑭	CN1	本体電源用コネクタ
⑮	CN6	スクリーレス端子台(電源, SP, 制御)
⑯	CN7	制御用コネクタ

8. 付属品・オプション

[付属品] 無 スクリューレス端子台仕様 (注)コネクタ接続可-オプションのコネクタケーブル要

[オプション]

	ケーブル型名	CN	コネクタ仕様(基板側)	線材仕様・線長
オプション	CK-WAV580B	CN1	日圧/B2P-VH	AWG20(UL1007)相当品 1m
		CN5	日圧/B3P-SHF-1AA	AWG22(UL1007)相当品 1m
		CN7	日圧/B16P-SHF-1AA	AWG22(UL1007)相当品 1m
オプション	CK-VER3	CN4	日圧/B3B-EH	3線シールド線 1m
オプション	CK-LER2	CN3	日圧/B2B-EH	2線シールド線 1m
オプション	CK-VR3G3	CN8	日圧/B3P-SHF-1AA	AWG22(UL1007)相当品 1m

9. 端子台・コネクタ

■端子台ピンアサイン サトーパーツ:ML-800S1H17P (注)コネクタ(CN7)もご使用できます

No.	表示	I/O	説明	
			接点制御	バイナリ制御
1	DC IN -		DC+24(12)電源入力 -	
2	DC IN +		DC+24(12)電源入力 +	
3	SP OUT -		スピーカー出力 -	
4	SP OUT +		スピーカー出力 +	
5	COM		信号用 GND	
6	8	I	/SW8	/D7
7	7	I	/SW7	/D6
8	6	I	/SW6	/D5
9	5	I	/SW5	/D4
10	4	I	/SW4	/D3
11	3	I	/SW3	/D2
12	2	I	/SW2	/D1
13	1	I	/SW1	/D0
14	STOP	I	/STOP	
15	STB	I	/OP	/STB
16	BUSY	O	BUSY 出力	
17	ALM	O	アラーム出力	

17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

■コネクタピンアサイン

CN No.	PIN No.	I/O	説明		備考
			接点制御	バイナリ制御	
CN7	1		COM		オプション CK-WAV580B
	2	I	/SW8	/D7	
	3	I	/SW7	/D6	
	4	I	/SW6	/D5	
	5	I	/SW5	/D4	
	6	I	/SW4	/D3	
	7	I	/SW3	/D2	
	8	I	/SW2	/D1	
	9	I	/SW1	/D0	
	10	I	/STOP		
	11	I	/OP	/STB	
	12	O	/BUSY		
	13	O	/ALM		
	14		COM		
	15		COM		
	16		COM		

VoiceNavi

CN4	1	外部 VR-1	オプション
	2	外部 VR-2	CK-VER3
	3	外部 VR-GND	
CN3	1	LINE OUT +	オプション
	2	LINE OUT -	CK-LER2
CN5	1	スピーカー出力+	オプション
	2	スピーカー出力+	CK-WAV580B
CN8	1	1/2 減音	オプション
	2	1/5 減音	CK-VR3G3
	3	GND	
CN1	1	DC+24(12)電源入力 -	オプション
CN2	2	DC+24(12)電源入力 +	CK-WAV580B

[適応コネクタ一覧表]

コネクタ No	基板側コネクタ	ケーブル側コネクタ	適合コンタクト
CN1,CN2	目圧/B2P-VH	目圧/EHR-2	BVH-21T-P1.1
CN7	目圧/B16P-SHF-1AA	目圧/H16P-SHF-AA	BHF-001T-0.8BS
CN4	目圧/B3B-EH	目圧/EHR-3	BEH-001T-P0.6
CN8	目圧/B3P-SHF-1AA	目圧/H3P-SHF-AA	BHF-001T-0.8BS
CN3	目圧/B2B-EH	目圧/EHR-2	BEH-001T-P0.6
CN5	目圧/B2P-SHF-1AA	目圧/H2P-SHF-AA	BHF-001T-0.8BS

10. 使用電源

安定化・低ノイズの DC+12V または DC+24V 電源をご使用下さい。

使用電源	電圧範囲	消費電流		備考
		待機時	動作時	
DC 電源	DC+24V±5%	約 75mA	約 460mA	左記消費電流は DC+24V 時
DC 電源	DC+12V±5%	約 70mA	約 220mA	左記消費電流は DC+12V 時

11. 音量調整

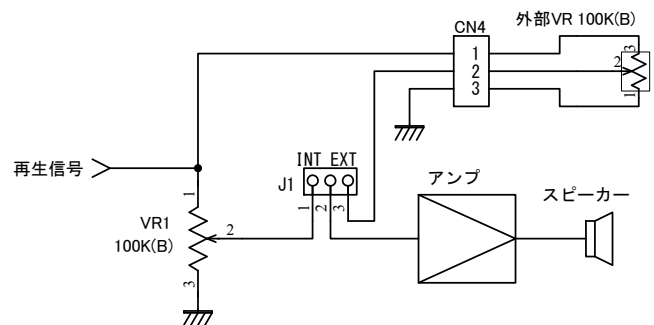
WAV580B はスピーカー出力の音量調整をボード上の半固定ボリューム、外部接続の可変ボリューム、外部接点端子による 3 段階音量切替、制御コマンドによる 3 段階音量切替ができます。

【本体上の半固定ボリュームによる】

ジャンパーピン J1 (内部 VR と外部 VR の設定) を内部 VR に設定。

【外部音量ボリュームを接続する場合】

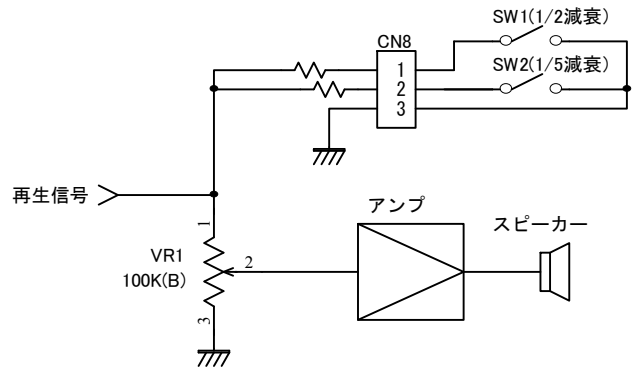
ジャンパーピン J1 (内部 VR と外部 VR の設定) を外部 VR に設定。オプション CK-VER3 に可変ボリューム 100KΩ (B) を接続します。



【外部接点端子による3段階音量レベル切替】

オプション CK-VR3G3 にスイッチ等を接続します。
 メイン音量はボード上の半固定ボリューム(外部 VR 使用の場合のその VR)で調整できます。

SW1	SW2	音量
OFF	OFF	大 半固定 VR と同一
ON	OFF	中(大の 1/2)
ON	ON	小(大の 1/5)

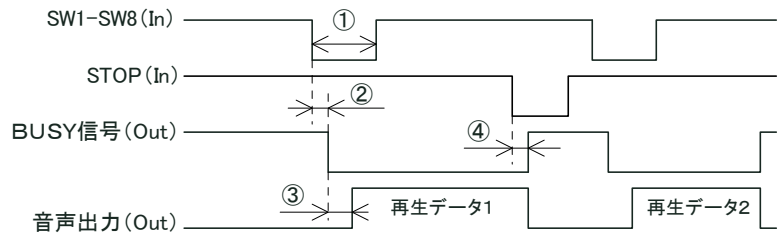


12. 入出力信号

信号名	ホスト側	内容	パルス幅
/SW1-8(/D0-D7)	OUT	無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ	50mS 以上
/OP(STB)	OUT	無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ	50mS 以上
/STOP	OUT	無電圧メーク接点または NPN オープンコレクタ	50mS 以上
/BUSY	IN	オープンコレクタ DC+50V 500mA	

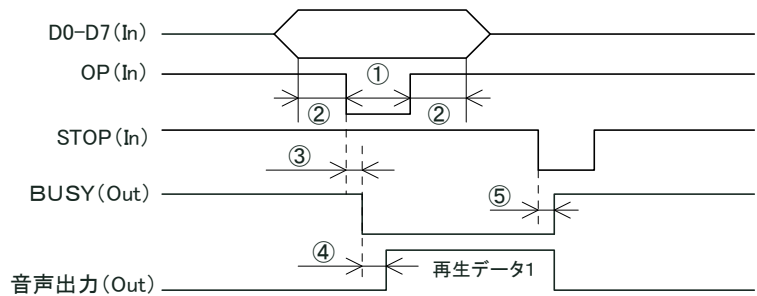
信号のタイミング (接点制御の場合)

No.	信号名称	時間
①	SW 入力時間	50ms min.
②	BUSY 出力タイミング	50ms max.
③	音声出力タイミング	100ms max.
④	音声終了タイミング	50ms max.



信号のタイミング (バイナリ制御の場合)

No.	信号名称	時間
①	OP(STB)入力時間	50ms min.
②	データセットアップ時間	50ms min.
③	BUSY 出力タイミング	50ms max.
④	音声出力タイミング	100ms max.
⑤	音声終了タイミング	50ms max.



13. 接続

本書記載の「各部の名称・機能」「接続参考図」を参照し、接続して下さい。

No.	設定項目	内容
1	制御信号線の接続	接点制御時 D0-D7, M1-M3, STOP, RESET, BUSY, COM を接続します
		バイナリ制御時 D0-7, OP, BUSY, COM を接続します。 必要に応じて、STOP, RESET も接続します。
2	SP 出力の接続	必要に応じて、定格 5W スピーカーを接続します。 (注)定格 5W
3	DC電源との接続	DC+24V もしくは DC+12V を接続します
4	データ入り「CF カード」のセット	Windows 上でフォーマット(初期化)し、カードデータファイル XXX.wpj と WAVE ファイル XXX.wav がコピーされたカード
5	各種設定	モードスイッチで、再生モードをセットします。

VoiceNavi

6	音量調整	スピーカー出力は音量調整ボリュームを調整 ライン出力は装置内ボード上の半固定ボリュームを調整(-6dBm~2dBm) (注)再生モード 手動テストモード MODE2 1ON 状態で調整
---	------	--

注	接続する場合、必ず電源を切ってください。 DC 電源には+の極性がありますご注意ください。 信号入出力、スピーカー出力端子、ライン出力端子には電圧を印加しないで下さい。 電圧変動が激しい電源や、ノイズ・サージを多く含む電源は使用しないで下さい。 信号入出力、SP、LINE の配線はできる限り短くして下さい。高圧ケーブルとの併設は避けて下さい。 必要に応じてシールド線等をご使用下さい。
---	--

14. ジャンパーピンの設定

電源を切って設定して下さい。電源 ON 時、設定内容を識別します。

J1	SP 用VR内部使用時	SP 用VR外部使用時
	 EXT INT	 EXT INT

J1 の設定については、「11. 音量調整」の項を参照

15. モードスイッチ(再生モード・タイマー・その他)の設定

電源を切って設定して下さい。電源 ON 時、設定内容を識別します。

No.	1	2	3	4	5	6	7	8
OFF	1	2	3	4	5	6	7	8
ON	1	2	3	4	5	6	7	8
	再生モード			インターバル タイマー		/	/	/

【再生モードの設定】電源 ON 時有効になります。●・・・ON

DIP SW									
1	2	3	4	5	6	7	8	再生モード	
								1	接点制御-通常再生モード
●								2	接点制御-後入力切替再生モード
	●							3	接点制御-優先順位再生モード
●	●							4	接点制御-入力中再生モード
		●						5	予備
●		●						6	予備
	●	●						7	予備
●	●	●						8	バイナリ制御-標準モード

●・・・ON

■再生モードの説明

	モード	説明
1	接点制御-通常再生モード	ワンショット入力:1 回再生 レベル入力:リピート再生 タイマー:インターバルタイマー有効 再生中-BUSY 出力 SW 入力に対応した CH の再生をします。 M1,M2,M3 は CH9,CH10,CH11 に対応します
2	接点制御-後入力切替再生モード	ワンショット入力:1 回再生 レベル入力:不可 再生中-BUSY 出力 再生中に別な SW 入力があると、即座に入力された SW に 該当する CH を再生します。

VoiceNavi

3	接点制御—優先順位再生モード	ワンショット入力:不可 レベル入力:リピート再生 再生中—BUSY 出力 複数入力時、優先順位が高い方を出力します SW1>SW2>・・・SW7>SW8
4	接点制御—入力中再生モード	ワンショット入力:不可 レベル入力:リピート再生 (注)複数入力不可 再生中—BUSY 出力 信号入力中のみ出力します
5	予備	未使用
6	予備	未使用
7	予備	未使用
8	バイナリ制御モード(標準)	入力アドレスに対応した CH を再生します。 入力論理—負論理(6650 他) 再生中—BUSY 出力 アクティブ(“L”) 〈再生中受信〉バッファ:20CHmax.

[バイナリ制御モード時のアドレス・再生 CH]

ホスト側アドレス	再生 CH
FEh	1CH
FDh	2CH
⋮	⋮
01h	255CH
FFh	STOP

■インターバルタイマーの設定

接点制御—通常再生モード時、使用できます。再生終了後、インターバルタイマーが作動します。
インターバルタイマー作動中は、スイッチ入力などは検知しません。

モードスイッチ								タイマー	
1	2	3	4	5	6	7	8		
			●					1	インターバルタイマー 0 秒
								2	インターバルタイマー 30 秒
				●				3	インターバルタイマー 60 秒
			●	●				4	インターバルタイマー 120 秒

■プログラムローダーの設定

CF カードを使用して、〈ユーザー〉仕様の再生モード・タイマーなどのプログラムを書き換えできます。

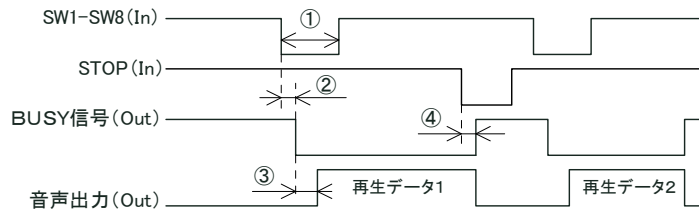
DIP SW1								プログラムローダー	
1	2	3	4	5	6	7	8		
								1	書き込み無効
						●		2	書き込み有効

16. 制御方法—接点制御

インターバルタイマーは通常再生モードのみ使用できます。

【信号のタイミング】

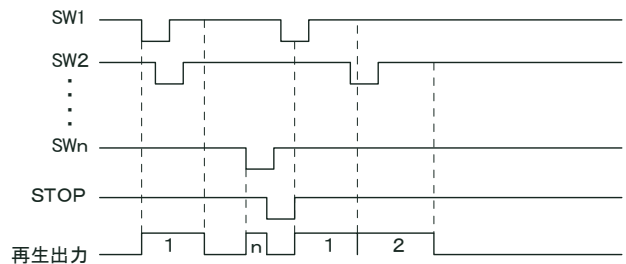
No.	信号名称	時間
①	SW 入力時間	50ms min.
②	BUSY 出力タイミング	50ms max.
③	音声出力タイミング	100ms max.
④	音声終了タイミング	50ms max.



■接点制御—通常再生モード（インターバルタイマー有効）

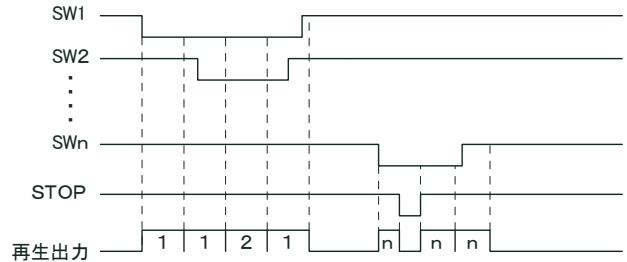
●ワンパルス入力

- ① 一回再生。再生中は他の入力は見ません。
- ② 再生終了後に次のSWをスキャンを行います。
- ③ 再生中は BUSY 出力有り



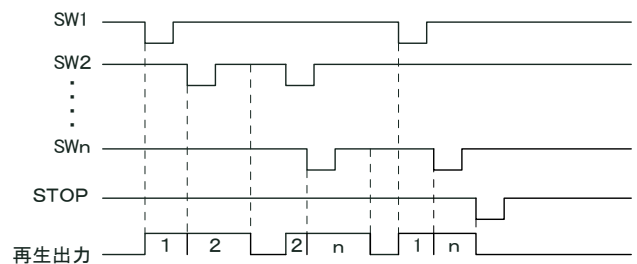
●レベル入力

- ① リピート再生。再生中は他の入力は見ません。
- ② 再生終了後に次のSWのスキャンを行います。
- ④ ストップ信号入力で即停止し、引き続き入力がある時は、ストップ解除後に最初から再生します。
- ⑤ 再生中は BUSY 出力有り



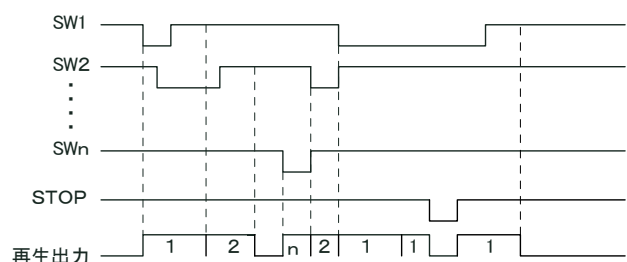
■接点制御—後入力切替再生モード（インターバルタイマー無効）

- ① ワンショット入力のみ(レベル入力不可)
- ② 1回再生
- ③ 再生中は、当該SWを含む全てのSWを検出し、入力されると即座に入力されたSWのメッセージに切り替わります。
- ④ ストップ信号入力で即停止します。
- ⑤ 再生中は BUSY 出力有り



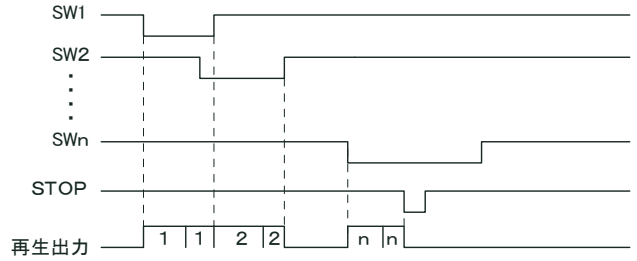
■接点制御—優先順位再生モード（インターバルタイマー無効）

- ① 再生はワンショット入力時は1回のみ再生となり、レベル入力時はリピート再生
- ② 再生中は当該SWより優先度の高いSWのみ検出し、入力されると即座に当該SWのメッセージに切り替わります。
- ③ 複数同時入力時は優先度の高い方を出力します。
- ④ 再生中は BUSY 出力有り
- ⑤ 優先度: SW1>SW2>...>SW7>SW8



■接点制御—入力中モード（インターバルタイマー無効）

- ① 再生はSW 入力がある時のみ再生され、再生中は他の SW 入力は無効となります
- ② 再生終了後に次の SW 入力から取り込みます。
- ③ 再生中は BUSY 出力有り



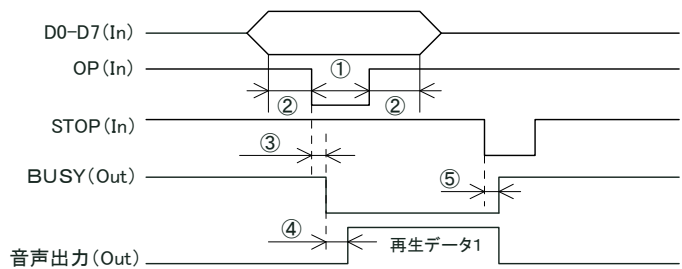
17. 制御方法—バイナリ制御

本ボードのバイナリ制御の場合、一般用と VP 系互換モードを搭載しています。入力論理が逆になりますので確認の上、DIP SW で設定してご使用下さい。

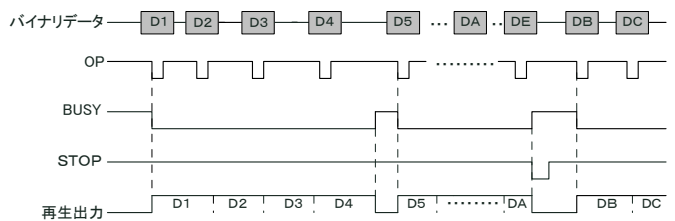
また<再生中受信>バッファにより、最大 20CH まで再生中でも受信できます。

【信号のタイミング】

No.	信号名称	時間
①	STB 入力時間	50 μ s min.
②	データセットアップ時間	50ms min.
③	BUSY 出力タイミング	50ms max.
④	音声出力タイミング	450ms max.
⑤	音声終了タイミング	50ms max.



- ① 再生チャンネル 1CH~255CH
- ② <再生中受信>バッファ: 最大20個
- ③ 再生中でも受信を行います。
- ④ 再生順番は FIFO 形式とし古いデータより再生
- ⑤ 受信バッファがフルで以降のデータは無効となり、バッファに5個の空きが生じると受信可能とします。
- ⑥ 外部 STOP 信号入力もしくは FFh 入力にて再生を即停止し、受信バッファを全てクリアにします。



18. 適用メモリカード

下記のメモリカードがご使用できます。下記以外のメモリカードは動作保証外になります。
動作検証したメモリカードのメーカー・型式はホームページ上に掲載していきます。

■推奨 CF カード 下記カードまたは相当品

カード容量	登録時間(44.1/22.05KHz 時)	バッファロー製
32MB	約 5/11 分	RCF-X32MY
64MB	約 11/22 分	RCF-X64MY
128MB	約 22/44 分	RCF-X128MY
256MB	約 44/88 分	RCF-X256MY

(注) カード本体の不良・破損について

カード本体の不良・破損に関しては、当社では保証・対応していません。カードメーカーへ返却・修理願います。

■カードフォーマット(初期化)

WAV500 シリーズが認識できる CF カードのフォーマットは FAT(別名 FAT16)です。
FAT32 や NTFS フォーマットの CF カードは認識できません。

CF カード状況	使用可否	対処方法
新規購入のカード	○	そのままご使用できます。
FAT32 フォーマットのカード	×	FAT(FAT16)でフォーマット
NTFS フォーマットのカード	×	FAT(FAT16)でフォーマット
デジタルカメラで使用したカード	×	FAT(FAT16)でフォーマット

(注) WindosXP Windows2000 ユーザーの場合、必ず、FAT(別名 FAT16)指定でフォーマットして下さい。

■カードの脱着

必ず、電源 OFF 状態でカードの脱着を行って下さい。
再生／録音中に行うと、カード内部が破損します。

19. 適用カードデータファイルと WAVE ファイル形式

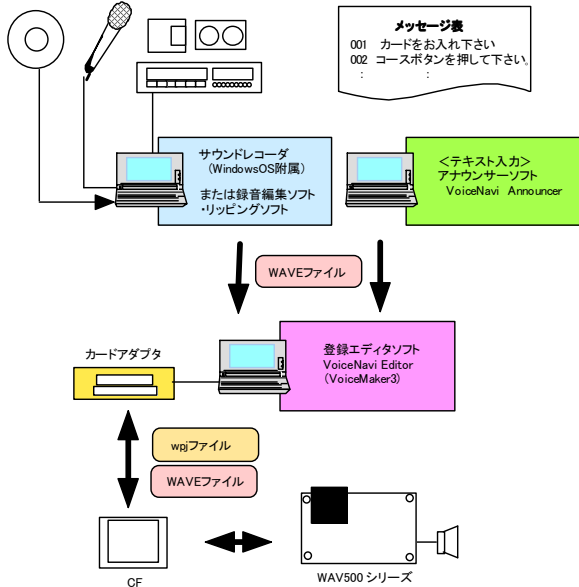
下記のカードファイルと WAVE ファイル形式が使用できます。

WAVE ファイル	44.1/32.0/22.05/11.025KHz 16/8Bit Mono 32/16/12.8/8KHz 16Bit Mono	<ul style="list-style-type: none"> ・ステレオデータは使用できません ・日本語、ロングネームは使用できません
カードファイル	.wpj ファイル	登録エディタソフト VoiceNavi Editor(ボイスナビエディタ)で作成したカードデータファイル 6650 シリーズのデータをコンバートして使用する場合はモード C のみ有効です。

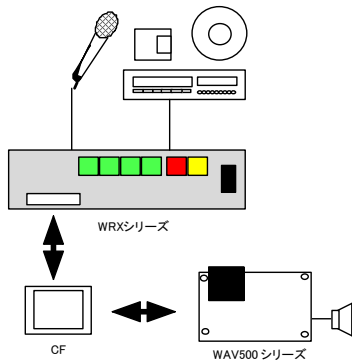
20. 音声データの録音または登録(カードデータ作成)

WAV シリーズは、自社録音または既存の WAVE ファイルを登録エディタソフトを使用してカードデータを作成する方法と WRX7000 シリーズを録音ツールとして使用する方法があります。

■サポートソフト VoiceNavi Editor を使用する場合



■WRX シリーズを録音ツールとして使用する場合



■録音・WAVE ファイル作成

1. MD・DAT、マイクの場合
Windows パソコン上で録音・ファイル保存
2. オーディオ CD の場合
市販の録音編集ソフトまたはリッピングソフトで WAVE ファイルにリッピングし、保存します。
3. テキスト入力の場合
市販のテキスト音声変換ソフトまたはテキスト入力>アナウンサーソフトで WAVE ファイル保存。

■WAV500 シリーズ用カードデータの作成

登録エディタソフト VoiceNavi Editor で試聴しながら WAVE ファイル登録、アドレス・プログラム登録し、カードデータ作成します。(モード C WAV500 シリーズ用)

■CF カードへコピー

作成したカードデータをカードアダプタ経由でコピーします。

■録音

WRX シリーズ本体で MIC またはライン入力で録音します。

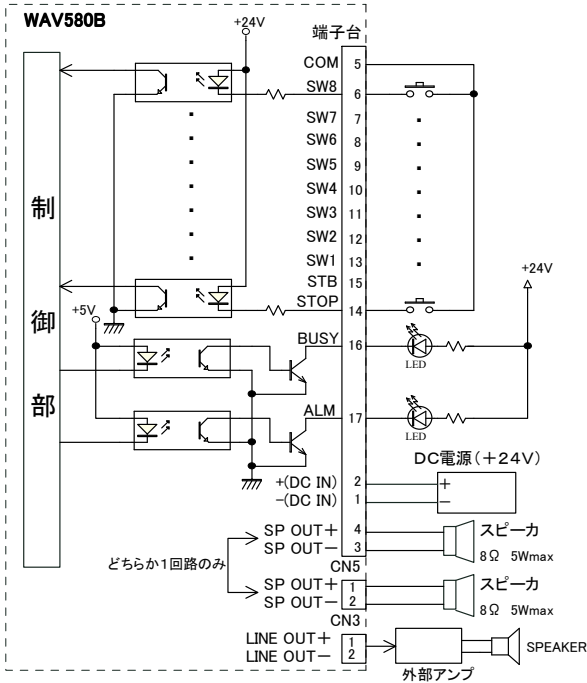
CF カードにはリアルタイムで PCM データで録音、WAVE ファイル形式で記録します。WRX シリーズで録音したカードデータもサポートソフト VoiceNavi Editor で読み込みできます。また録音した CF カードのデータはパソコンで CD や DVD にバックアップして保存して下さい。

21. 音声データのアドレス登録について

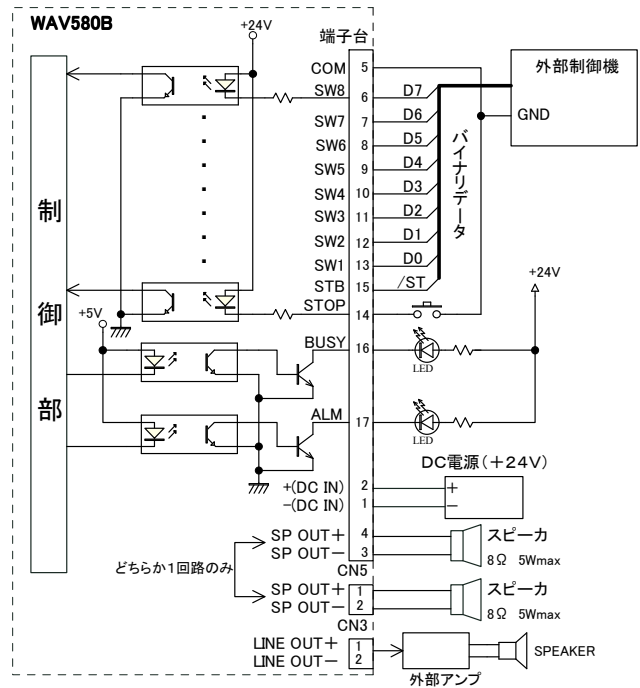
接点制御	バイナリ制御	WAV580B	エディタソフト VoiceNavi Editor アドレス・プログラム画面							
ホスト側	ホスト側		No.	R	SP	1	2	..	8	
SW	アドレス									
SW1	FEh	01h	001	1	1	A001	B002	C003		
SW2	FDh	02h	002	1	1	空き				
SW3	FCh	03h	003	1	1	A001	D001			
:	:	:	:	:		:	:			
SW8	:	08h	008	1	1					
	:	09h	009	1	1					
	:	0Ah	010	1	1					
	:	0Bh	011	1	1					
	C8h	37h	055	1	1	A001				
	C7h	38h	056	1	1	E001	F002			
	:	:	:	:		:	:			
	01h	FEh	255	1	1	Z001				
	FFh	FFh	制御コマンド=再生停止							

■ 接続参考図

接点制御の場合

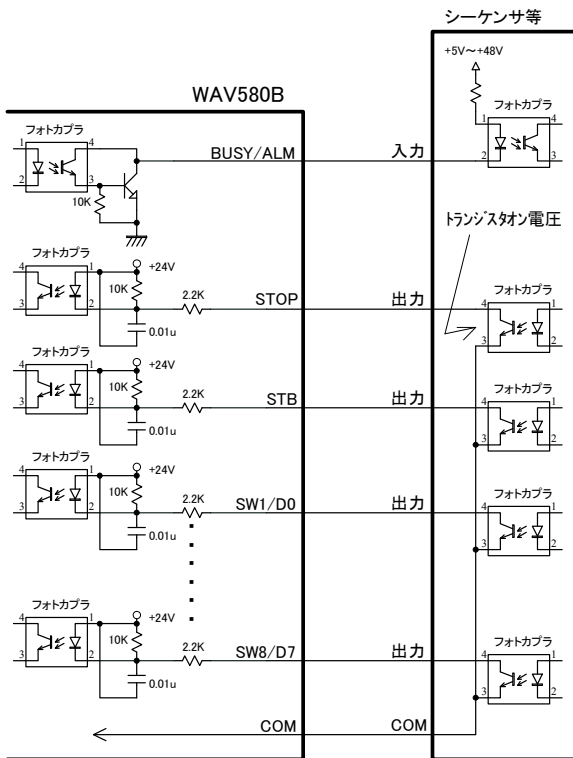


バイナリ制御の場合

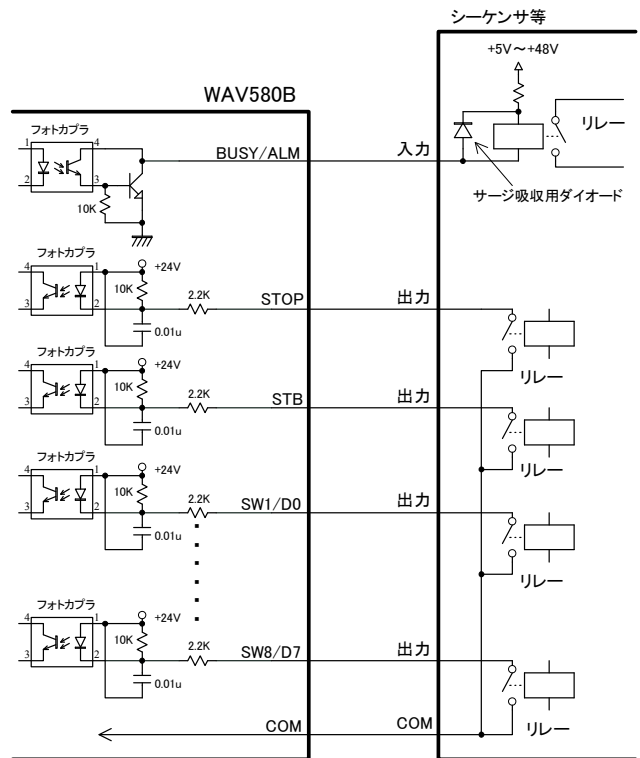


(シーケンサとの接続)

トランジスタタイプ



リレータイプ



(注)
トランジスタのオン電圧が0.8V以下のものを御使用願います。

(注)
リレーのコイルをドライブする時はコイル間にサージ吸収用のダイオード(繰り返し尖頭逆電圧及び直流逆電圧は、外部のサージも考慮して余裕のあるもの、また平均整流電流はコイル電流以上のダイオード)を付加して下さい

(注)本書中記載の商品・社名は各社の商標または登録商標です。本書記載の仕様・概観は改良等により、予告なく変更になることがあります。